

2026年2月28日 子どもの日本語教育研究会 第11回大会 実践・研究発表

外国人児童生徒等教育の視点から見る小学校道徳教材 —「支援の客体」から「対等な主体」への転換—

鳴門教育大学 大学院生

小谷美帆

1. 研究の目的

●「特別の教科 道徳」(以下、道徳科)教科書の特質
隠れたカリキュラムとして作用しやすい(木村, 2019)

●道徳科教科書を分析した先行研究の動向

指摘済み: 障害者、ジェンダーなどの偏り

未検証: 他国の人々(外国人児童)や文化の描かれ方

- ・ 特に、外国人児童生徒の増加、検定教科書への移行を背景に、どう変化してきたかは明らかでない

研究目的(修士論文)

小学校道徳教材における他国の人々や文化の描かれ方の通時的変遷を明らかにする

 **▶本発表**: 特に、外国人児童の描かれ方の変遷を取り上げる

2. 問題の背景 社会的背景

●グローバル化の進展

学校教育においても、

「多様性を尊重する」「多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する」力の育成が目指される(中央教育審議会, 2016)

●外国人児童生徒の増加

児童の言語的背景・文化的背景の多様化
児童間の相互理解、関係構築は重要

2. 問題の背景 道徳科の役割

●道徳科の役割

- 異文化理解に関わる教育を担う教科のひとつ

- 目標

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる

- 内容項目「国際理解、国際親善」

「他国の人々や文化に親しみ、関心をもつ」

「他国の人々や文化について理解する」(文部科学省, 2017)

→知識や態度だけでなく、その基盤となる部分を育成する

先行研究

道徳科教科書を他の観点から分析したもの

- 道徳科教科書は、「隠れたカリキュラム」として作用しやすい(木村, 2019)
- 他の観点では、偏りが見られた

■木村(2019)

教材内で親切の対象となっているのは高齢者や障害者が多い

■上森・栖原(2020)

写真や挿絵でも男性主義が再生産されている

■池田(2019)

障害者は、「いつも困っていて、誰かに助けられる存在」として、「『障害にもめげず』がんばる姿」が描かれる

→他国の人々や文化の描かれ方にも偏りがある可能性

2. 問題の背景 研究課題

●道徳科教科書について

指摘済み: 障害者、ジェンダーなどの偏り

未検証 : 他国の人々(外国人児童)や文化の描かれ方

- 特に、外国人児童生徒の増加、検定教科書への移行を背景に、どう変化してきたかは明らかでない
- 教科書全体を分析したものは見当たらない

研究課題

道徳教科書における、他国の人々や文化の描かれ方はどのように変化してきたか

3.方法

データ 小学校道徳教科書(1年~6年)

書名	発行者	使用開始	教材数
副教材			
『心のノート』	文部科学省	2002年	71
『私たちの道徳』	文部科学省	2014年	122
検定教科書			
『新しい道徳』	東京書籍	2024年	276
『小学道徳 生きる力』	日本文教出版	2024年	267
『道徳 きみがいちばんひかるとき』	光村図書	2024年	259

3.方法

分析手続き

- 「他国の人々や文化」について、文章または挿絵で描写がある教材全てを抽出

3.方法

分析項目

(1)抽出教材数と、全教材数に対するその割合（教科書別の比較）

当該教材の比重の、教科書による傾向

(2)内容項目の分布 内容項目:授業で学ぶ道徳的価値 例)親切、思いやり

他国の人々や文化が、いかなる道徳的価値と結びつけて語られているか

(3)登場する国の数とその内訳

取り上げられる国の数的変化、質的な偏りや特徴

(4)日本人との交流場面があるか

他国の人々や文化の位置付け

一方的な学習の対象?双方向的な交流の対象?

(5)その他、質的な検討（挿絵など）

3.方法

分析項目

(1)抽出教材数と、全教材数に対するその割合(教科書別の比較)

当該教材の比重の、教科書による傾向

(2)内容項目の分布 内容項目:授業で学ぶ道徳的価値 例)親切、思いやり
他国の人々や文化が、いかなる道徳的価値と結びつけて語られているか

(3)登場する国の数とその内訳

取り上げられる国の数的変化、質的な偏りや特徴

(4)日本人との交流場面があるか

他国の人々や文化の位置付け

一方的な学習の対象?双方向的な交流の対象?

(5)その他、質的な検討(挿絵など)

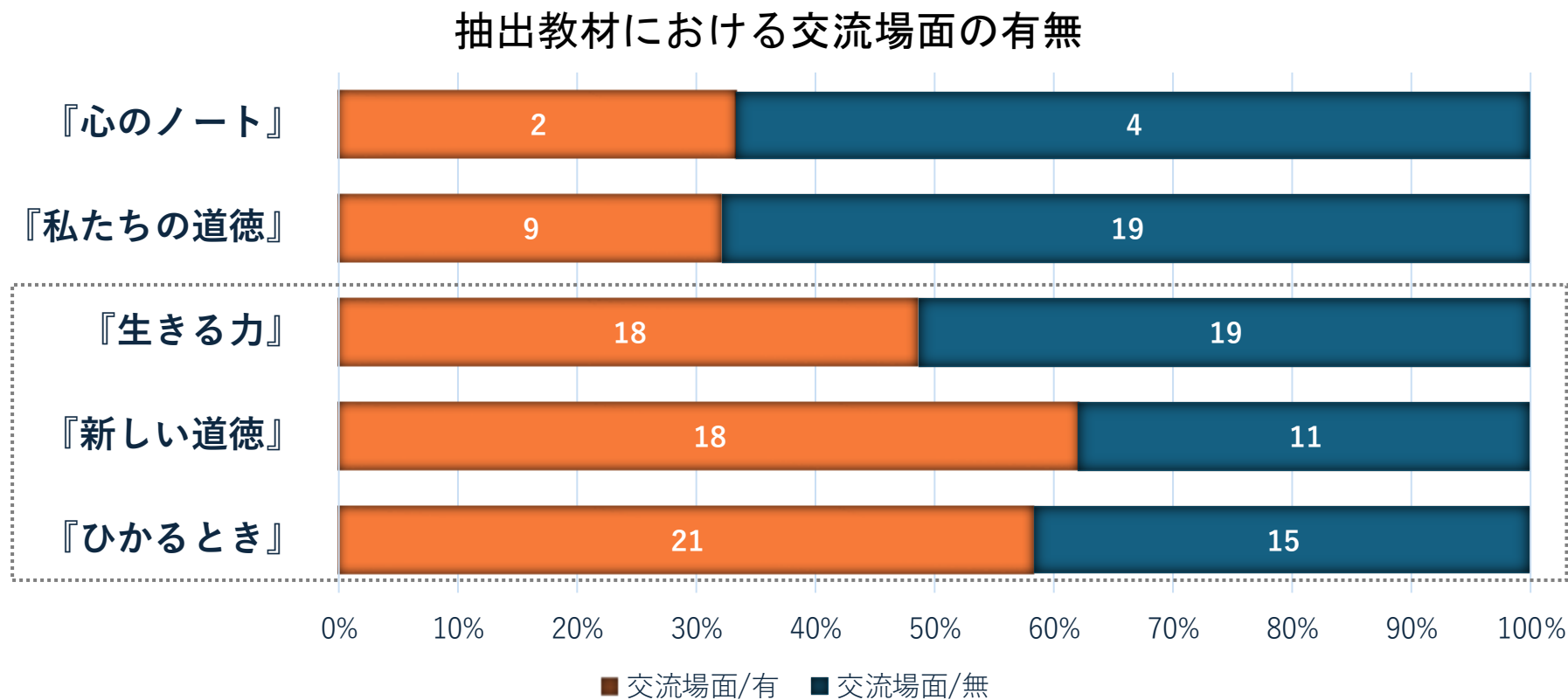
4. 結果と考察 (1)教材の出現状況

教科書5種における全教材数と抽出した教材数およびその割合

教科書	全教材数 (編)	抽出教材数 (編)	
		合計 (全教材数に対する割合)	(内) 先人・ 著名人
『心のノート』	71	6 (8%)	3
『私たちの道徳』	122	28 (23%)	16
『生きる力』	267	37 (14%)	8
『新しい道徳』	276	29 (11%)	8
『ひかるとき』	259	31 (12%)	5

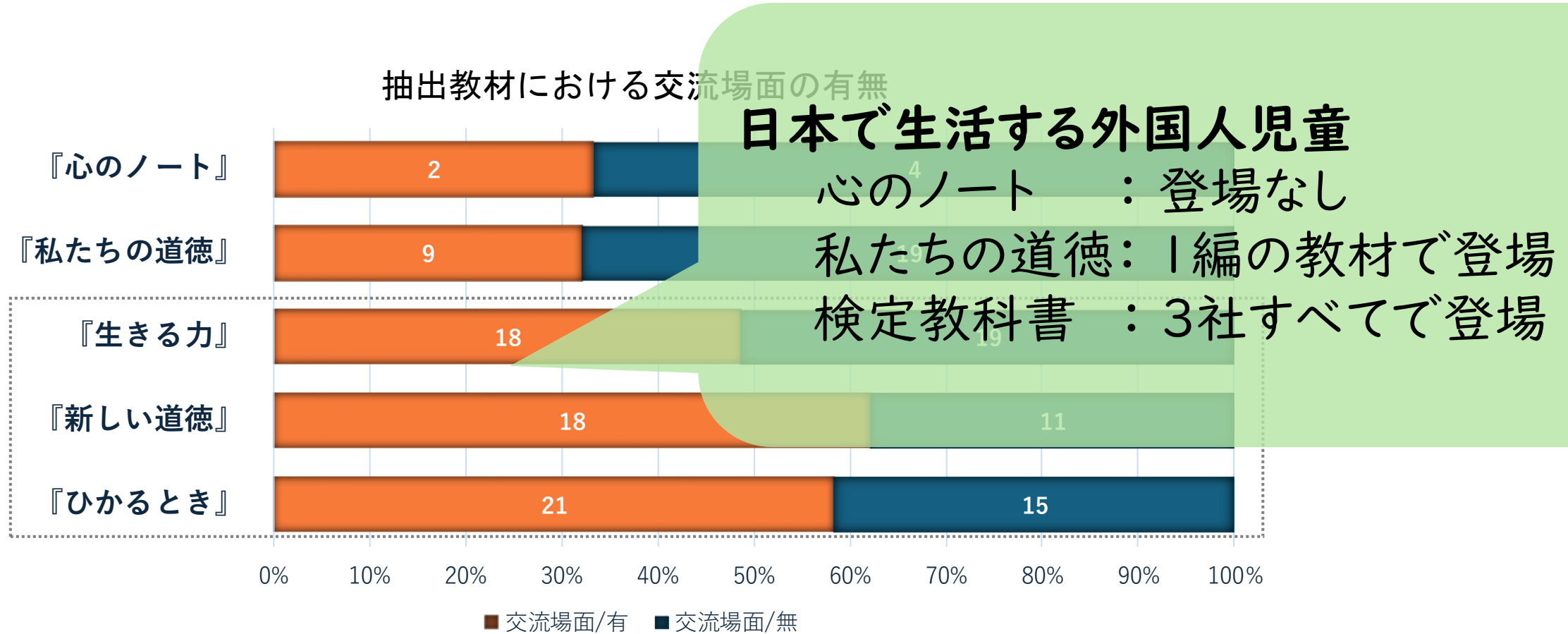
『私たちの道徳』で最も割合が高い
→編集方針「先人等の名言、偉人や著名人の生き方に関する内容の充実」
(文部科学省, 2014) の影響と考えられる

4. 結果と考察 (4)日本人との交流場面



交流場面が増加傾向
他国の人々との関わりが描かれるように

4. 結果と考察 (4)日本人との交流場面



交流場面が増加傾向
他国の人々との関わりが描かれるように

4. 結果と考察 質的側面 -外国人児童の描かれ方-

副教材『私たちの道徳』



『私たちの道徳 5,6年』 「愛の日記」



愛

「ベトナムから来たリャンちゃんは、
今日もさみしそうにしていた。
日本語があまり話せないので
声をかけてあげたくても、なかなかできない。」



父

「愛はリャンちゃんにやさしくしてるんだろう？」



リャンちゃん

セリフがない
気持ちが描かれない

「やさしく声をかけてあげるべき存在」
としての一方的な描写

4. 結果と考察 質的側面 -外国人児童の描かれ方-

検定教科書



『新しい道徳 4年』 「合い言葉は『話せばわかる!』」

外国からの転入生 トム

掃除の文化の違いから、
学級でトラブルが起こる

→帰りの会での話し合いで、
トムが自分の言葉で
自国の学校文化との違いを話す

対話を通じた
相互理解のプロセスが描かれている

4. 結果と考察 質的側面 -外国人児童の描かれ方-

検定教科書



『生きる力 1年』 「がっこうへ いく とき」

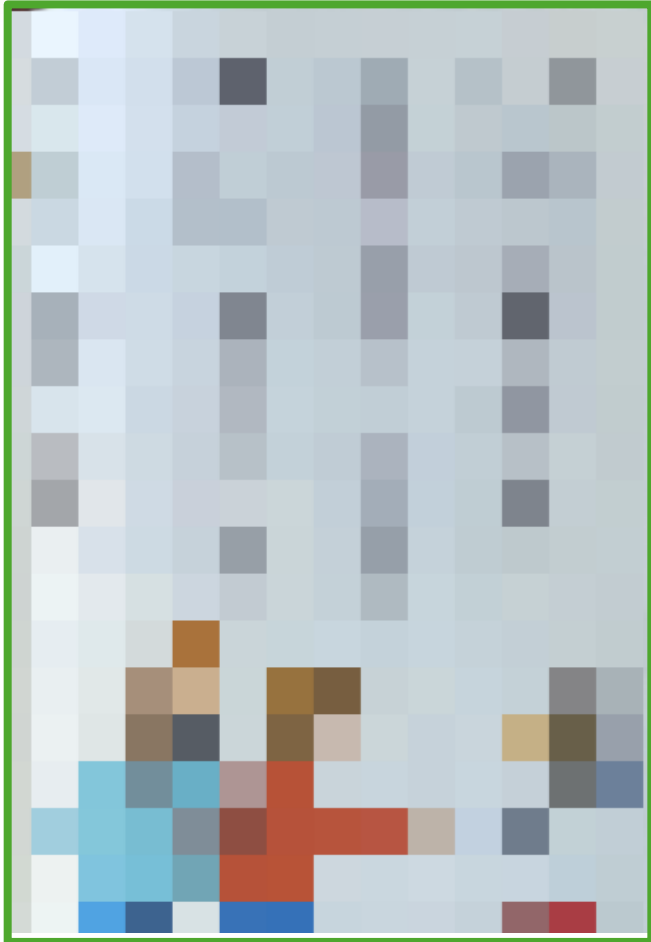
ブラジルからの転入生 ソニアさん

「ぼく」とソニアさんは、
通学時に交流を深め、仲良くなる

- お互いが相手の言語であいさつし合う
言語が違っても、
挨拶という共通項を通じた対等な関わり
- 低学年の教材でも交流場面が登場
外国人児童との関わりが、
低学年の段階においても
身近な課題として重視されるように

4. 結果と考察 質的側面 -外国人児童の描かれ方-

検定教科書



同じクラスのジミーさん

外国人児童が「かなわない存在」として登場

「ジミーさんは運動が得意で、ぼくは、とび箱も鉄ぼうもかないません。だから、ベーゴマだけは負けたくありません。でも、なかなか勝てません。」

多様な言語背景を肯定的に捉えた描写

「ジミーさんは、勝っても負けても必ず『サンキュー。』と言ってあく手してきます。そう言われると、くやしかった気持ちがふにやっとなって、なんだか元気になってきます。」

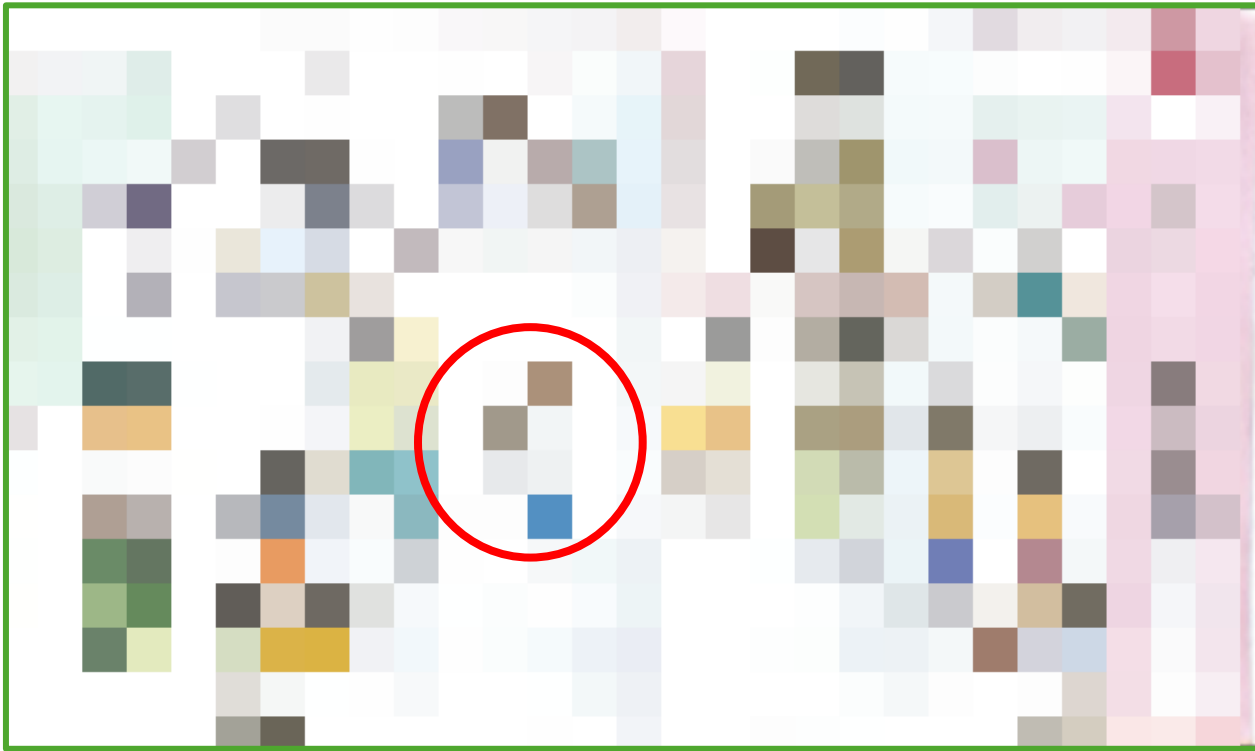
「『サンキュー』は、不思議な言葉です。」

4. 結果と考察

質的側面

-教材本文以外での描写-

身体的特徴の異なる児童の登場
(検定教科書)



『新しい道徳 1年』 (p. 10-11, p. 27)



4. 結果と考察

質的側面

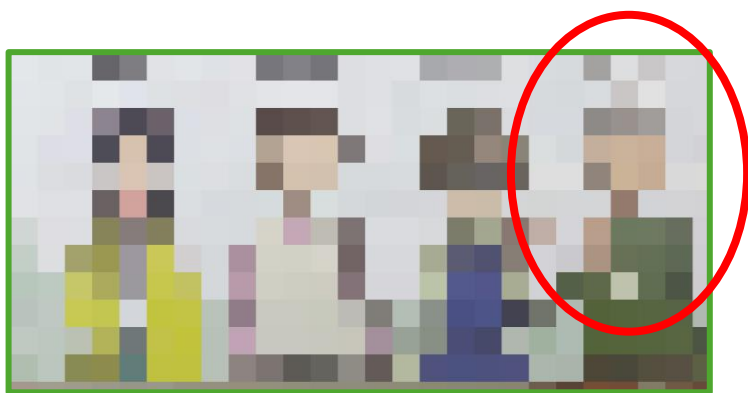
-挿絵等での描写-

身体的特徴の異なる児童

教科書を通して登場するキャラクターにも



『ひかるとき 3年』 (p. 13, p. 27)



『生きる力 3年』 (p. 3)

名前がカタカナの児童



『ひかるとき 3年』 (p. 14) (左),
『ひかるとき 4年』 (p. 45) (右)

5.まとめ -外国人児童の描かれ方の変遷-

『心のノート』

外国人児童が登場する教材は0

『私たちの道徳』

外国人児童は「やさしくしてあげるべき存在」

検定教科書

外国人児童が「敵わない存在」として描かれる事例も

支援の対象 → 学級の一員として、対等な存在に

5.まとめ -教育的示唆-

●学級づくり

外国人児童を、

「支援の対象」「適応させるべき存在」ではなく、
共に学級を作り上げる対等な主体としてまなざす

●授業づくり

教材を批判的に読み解き、足りない視点を補う姿勢が必要

参考文献

池田賢市(2019)「道徳の教科書に描かれた障害者像の特徴と問題点」『教育学論集』61、中央大学教育学研究会、pp.33-47.

上森さくら・栖原佳乃子(2020)「小学校道徳教科書のジェンダー視点からの分析(1)」『教育実践研究』46、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属教育実践支援センター、pp.53-61.

木村和美(2019)「人権の視点から考える道徳科教科書—小学校第5学年,第6学年の「親切,思いやり」に着目して—」『広島修大論集』59(2)、広島修道大学ひろしま未来協創センター、pp.215-229.

中央教育審議会(2016)「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」<https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf>(2025年12月11日閲覧)

文部科学省(2017c)『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』

文部科学省(2014)「私たちの道徳 パンフレット」<https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/049/siryu/_icsFiles/afieldfile/2014/03/26/1345438_11.pdf>(2025年12月25日閲覧)

出典

東京書籍(2023)『新しい道徳 1年』～『同6年』

日本文教出版(2023)『小学道徳 生きる力 1年』～『同6年』

光村図書(2023)『道徳 きみがいちばんひかるとき 1年』～『同6年』

文部科学省(2002)『心のノート 1・2年』～『同5・6年』

文部科学省(2014)『私たちの道徳 1・2年』～『同5・6年』